

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2007-2008



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区ガバナー 江崎 柳節

静謐(せいひつ) 撮影 江崎 柳節

ガバナー月信 No.3



ロータリーは
分かちあいの心

2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ

ガバナーメッセージ	2
新世代月間によせて	4
国際奉仕委員長会議	8
ガバナー公式訪問報告(7月分)	10
インターアクトクラブ協議会開催報告	11
地区ロータリー財団セミナー報告	12
地区大会の予告	13

国連とロータリー	14
クラブの会長と幹事のための情報資料	14
第20回インターアクトクラブ海外研修報告	15
会議開催のお知らせ(9月に開催予定の会議)	16
インターネット速報・文庫通信	17
その他お知らせ	18
会員出席率報告(7月分)	19

9月

2007年9月1日発行

One Difference 違いをもたらそう

2007~2008年度
国際ロータリー第2760地区のテーマ



Governor Message

ロータリーの

クラブ会長各位

クラブ幹事各位

残暑お見舞い申し上げます。

2ヶ月を経過した今、順調な推移でそろそろクラブ運営管理を楽しんでいらっしゃる時期ではないかと推察致しております。分区の会長幹事会、ガバナー補佐を囲んでの懇談会などきつと情報共有の絶好の機会でございますし、はじまっておりますガバナー補佐事前訪問とやがて来るガバナー補佐の最大の事業であるIMの成功のためにもご協力をころからお願い申し上げます。

さてこの暑い最中少し肩のこらない話題をお届けしたいと思います。

今ロータリアン誰しもが「少しヘンじゃない？」とお考えの事項について考えてみましょう。

1) 奉仕の理想とはどういう意味か。

私達の唯一の規範『ロータリーの綱領』の冒頭に「有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し特に次の各事項を鼓吹育成する事にある」とあります。この中で示している奉仕の理想 (Ideal of Service) はもうそろそろ奉仕の理念、奉仕の真髄などと言い換えないとこの理想で足踏みをくりかえすことになると思います。あとに続く4つの付帯事項はクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の理念を鼓吹育成する事を誓約することですからこの前文をないがしろに出来ないわけです。「奉仕こそおのが至幸」の前号の巻頭言に続く大切な事項なのですが、和訳がかえってこの解釈を混乱させていないでしょうか。

2) “親睦” の本当の意味

ロータリーはそんなに屁理屈を言わなくても楽しければ良いではないかというお話は十分納得できます。仲良しクラブのポリシーの範囲内のクラブで良ければその通りだと思います。そこで付帯事項の第1のクラブ奉仕に書かれていることを見てみましょう。「奉仕の機会として知り合いを広めること」がその精神です。その知り合いでわれわれは勘違いをしています。encouragement of fellowshipではなく development of acquaintanceなのです。会員だけの仲良しの促進なんか書いてないのです。この親睦がどうしても必要であったシカゴの荒廃の悲劇はもう1913年のロータリーの綱領の採決のときに終わりを告げているのです。acquaintance (知り合い) とはfriend (友達) でもなく、Fellow (会員) でもなく acquaintance (知り合い、非ロータリアンでも久し振り「げんき」と声を掛け合える人々) を沢山つくり

イノベーション

国際ロータリー2760地区ガバナー 江崎柳節

やがてその人達にもロータリーの理念を分かちあい友情をひろめ会員に引き込もうということでもあります。

クラブ内の親睦はそのようなことを推進するための相互理解と勇気を共有しようという『心構え』なのでありましょう。

3) 一業種一会員のかつての原則はどうなっている！

ロータリーを真剣に考えている国ほど会員増強に苦闘を強いられている原因はこの原則の誤解にあると思っています。

100年ロータリーが続いたのはこの原則があったお陰だと思っています。10%ルールは2001年の規定審議会で制定されました。これは当時の情勢からしゃにむに会員を増やそうとする理念の低い決定打と誰もが思っています。しかしこの規定審議会の議長であったクリフ・ダクターマン（パストRI会長）が採決のとき述べた宣言が世間に理解されていないことが問題なのです。彼は「これは近隣でライバル関係にある同業者を入れるという意味ではありません。本人がロータリーが大好きで、ロータリーに対してあこがれを持っている。そして既存の会員同業者もあの人ならば喜んで迎えたいという候補者があっても一業種一会員のためにロータリアンになれない。そういう人を救う手段のためのものである。」とはっきり述べています。これはよくご承知おきくださると良いかと存じます。

熱い最中、また今号も暑苦しいご挨拶になってしまいました。お許しください。いつも申し上げることですが、会長はクラブの審議、執行の最高責任者であり、幹事は執行の責任者です。審議機関である理事会を活性化させ、考えておられるロータリーのあるべき姿の実現に存分のお力を発揮頂き、会員の皆様にロータリーの楽しさを体現して頂くようご尽力をお願い申し上げます。

新世代月間によせて



国際ロータリー第2760地区新世代委員会委員長 加藤 康 治

新世代のための月間 (New Generations Month) は年齢30歳までの青年男女の育成に対し、すべてのロータリー活動が若者に焦点を当てるために指定された月間です。インターアクト・ローターアクト・ライラの3つの活動がそれぞれの目的に対して的確な指導と助言を与えるよう委員会の構成がなされております。

インターアクトは14歳から18歳までの国際ロータリーの奉仕クラブです。支援や指導を与える個々のロータリークラブがスポンサーとなっていますが、インターアクトクラブは運営面でも、経済面でも自立しています。会員基盤は1つの学校から集められる場合と、同じ地域社会内の2つ以上の学校から成り立っております。インターアクトクラブは少なくとも2つの社会奉仕プロジェクトを行い、1つは国際理解と親善を推進するとされます。プロジェクトを通じてインターアクターは地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築き、プロセスの中でインターアクターは指導者としての技能と一生懸命働くことの価値を学ぶものです。

ローターアクトはロータリーがスポンサーとなっている18歳から30歳までの青年男女のための奉仕クラブです。ローターアクトは通常、地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリークラブがスポンサーとなっております。ローターアクト・プログラムを通じて知識や技能を学ぶばかりではなく、地域社会の物理的・社会的ニーズに取り組みながら、友情と奉仕の枠組みの中で国際理解と平和を推進していきます。

RYLAは14歳から30歳までの選ばれた青少年が、ロータリーが全費用を負担するセミナーやワークショップに出席し、指導者としての技能について話し合ったり、練習を通じてこれらの技能を習得したりします。ロータリークラブと地区が参加者を選考し、この行事のカリキュラムを進行します。

目的は

- ① ロータリーの青少年への尊重や配慮を身をもって示すこと
- ② 選ばれた青少年や潜在性を有する将来の指導者に対して効果的な研修を与えること
- ③ 青少年の指導力を青少年によって促進させること
- ④ 地域社会のために奉仕を行う青少年を公に認証すること

ロータリークラブの新世代活動は青年男女にロータリーの指針を与え、奉仕の心を持った若者が次世代の指導者になることへの奉仕なのです。1960年代にインターアクト・ローターアクトのクラブ活動がR.I.から認証されております。半世紀に及ぶ日々はそれらの活動にも何らかの形骸化をもたらします。1996年にR.I.ジアイ会長は青少年活動から新世代活動へと変更され、一層の新世代への重要性を強調されております。現代社会はめざましい科学の発展と社会構造の変革が今、まさに増幅いたしております。インターアクト・ローターアクト・ライラ等の活動は海外研修や友好活動のみが主ではなく、指導者養成事業の一環として認識し、指導者であるロータリアンは基本理念をしっかりと把握し、更なる活動に留意すべき時代と察します。

ロータリークラブは地域の学校に講師を派遣する事と、ロータリアンの事業所で生徒に職場体験をさせる（キャリア・ウィーク）にも協力し年に2日～5日程度の職場体験をスタートしております。平成17年度は推進地域事業（第1年次）として瀬戸地域8校・東海地域6校・安城地域8校・新城、南設地域6校平成18年度は推進地域事業（第2年次）として稲沢地域9校・小牧地域9校・田原地域7校・三好地域4校・名古屋緑区地域3校と推進地域2校（豊田竜神校・蒲郡三谷中）の34校で実施されました。児童生徒が「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に対応し、自主的に自己の進路を選択・決定できるなど社会人・職業人として自立していくことができるようにするキャリア教育に支援いたしております。

新世代委員会はこの月間を通じてロータリアンが過去の経験から現実を把握し、社会のニーズに即応した奉仕活動が新たな指針と具体的な活動が求められています。

新世代月間によせて



国際ロータリー第2760地区インターアクト委員長 加藤 明 宏

インターアクトクラブとは、高校か地域に活動拠点を置く14歳から18歳までの青少年（高校生）のためにロータリークラブがスポンサーとなり提唱する奉仕クラブで、楽しく意義ある奉仕プロジェクトに参加する機会を青少年たち（高校生）にあたえるものです。インターアクターは新しい友人を作りながら、指導者としての技能と積極的な行動力を習得します。

今日では、世界の約110カ国に8,700ものクラブを擁し、その若い会員数は20万人を超えており、世界各地で青少年がさまざまなインターアクト奉仕活動を通して、国際理解と親睦の輪を広げています。当2760地区内においては現在15のインターアクトクラブを有し、それぞれが創意工夫をして活発な活動をしています。提唱ロータリークラブは、合同も含み22クラブになります。

2007～2008年度R Iのテーマは、「ロータリーは分かちあいの心」です。奉仕クラブであるインターアクトの活動にまさにフィットしたテーマと言えます。奉仕活動を通して人に尽くす喜び、友人の輪を広げる素晴らしさ、そして国境と海を越えた友情を結ぶチャンス、これらをインターアクトクラブでは日々の活動の中で具体的に実践しています。

またロータリアンは、ロータリーの活動に参加する全ての人々のために、最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くす必要があります。全ロータリアンやボランティアの人々は、インターアクトの活動を通じて青少年の安全を考え、肉体的、性的、精神的な虐待を防止して、彼ら・彼女らの身を守るための責任もあります。

インターアクトの活動は、新しい友情を築き、地元の地域社会を改善し、リーダーシップ技能を育成し、世界に違いをもたらすチャンスです。「ロータリーは分かちあいの心」のテーマを1年間かみしめながら、インターアクトクラブへの指導と支援を十分に果たしてまいりたいと思います。2760地区全てのロータリアンの暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。



新世代月間によせて



国際ロータリー第2760地区ローターアクト委員長 坪井和義

新しいローターアクトクラブ（RAC）が豊田で産声を上げた。
去る6月24日、斎藤ガバナー出席のもと、豊田広域RAC創立総会が開催された。
今年度、第2760地区のRACは9クラブとなり、7月1日現在137名の会員（アクター）が活動しています。

名古屋地区では、名古屋港RAC、名古屋熱田RAC、名古屋名城RACの3クラブが、また尾張地区には、一宮RAC、江南RACの2クラブが、そして三河地区には、岡崎RAC、豊橋RAC、田原RAC、それに豊田広域RACの4クラブです。会員数で見ると、7年前の2001年は164名でしたが、去年（2006年）は102名でした。この数年間、会員資格が18才から30才までという年齢制限も起因しているせいか、会員の減少傾向が見られましたが、アクターの皆さんの努力やロータリアンの皆様のご助力により今年度は増加しています。

RACの活動は年を追う毎に、質・量共に向上していると思っています。

毎月2回の例会、3ヶ月に一度の提唱ロータリークラブ（RC）との交流、また、地区としての活動のみならず、2600地区（長野）、2630地区（岐阜・三重）のRACとの交流も行っており、大変活動的にロータリーの精神を發揮しています。

そして国内研修、海外研修を通じてアクターの親睦を深め、情報交換も行っています。

ローターアクト（RA）とは、新世代のためのロータリープログラムに属する奉仕活動であり、RC提唱の下に18才から30才までの青年男女により構成され、その目的は、青年男女が個々の能力開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、或は社会的ニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々のあいだにより良い信頼関係を推進するための機会を提供する事にあると言われています。

すなわち、RACというロータリー直営の組織を作って、ロータリーの奉仕の理想を志向する市民と指導者の育成を図るもので、青年男女が親睦と奉仕活動を通じてさまざまなプロジェクトにチャレンジしています。

RACの組織はクラブ奉仕・社会奉仕・国際奉仕の各委員会など、RCの組織と殆ど一緒ですが、一つ違いを見つけると、個々の能力開発に役立つ「専門知識開発委員会」がおかれている事だと思います。

若いアクターが、活動を通じて自己啓発をし、いろいろな能力を身につけ、また社会的なニーズと取り組み、社会価値に目覚めてそれを体験する非常に貴重な組織がRACであると思います。そんなすばらしい機会を新世代に残し、育てていくことが我々ロータリアンの役目ではないでしょうか。

提唱でも協力クラブでもない地区のロータリアンの皆さんが、アクターの活動に触れることができないのは残念ですが、その活動内容は彼らが作ったホームページに掲載されています。（<http://2760aichi.com/>）

そして皆さんの家庭や職場にいる若者に、是非ローターアクトを紹介し、入会を薦めて下さい。それが100年を越えたロータリアンの役目ではないでしょうか。

新世代月間によせて



国際ロータリー第2760地区ライラ委員会委員長 坂田 憲治

ライラセミナーも今回で16回目となります。国際ロータリー2760地区では、1993年西三河中分区岡崎東RCがホストクラブで開催されてから8地区の持ち回りで毎年開催されてきました。

このライラセミナーは、ロータリアンへの認識はまだまだ低いと感じております。「ライラ」とは（Rotary Youth Leadership Awards ロータリー青少年指導者育成プログラム）のことであり、国際ロータリーでは1971年に「地域社会指導者」として、また「善良な市民」としての資質を志すことを目的に青少年育成プログラムとして「ライラセミナー」を位置づけています。当地区では1泊2日で次代を担う若い人々とロータリアンが共に過ごし、指導力・奉仕の精神を伝え、友愛を深めると同時に参加者が自分達の地域社会に奉仕するための知識、技術あるいは人間関係等を学ぶ「地域プロジェクト」であります。

このセミナーは、ロータリーの関係者以外から青少年に参加していただき、ロータリアンが共に過ごし、指導力の養成や奉仕の精神を学ぶと同時に共に友愛を深めるために開催されるものです。

「ライラセミナー」を開催するホストクラブは、約一年前から企画・運営方法等大変尽力されています。その努力に報いるためにも多くの受講生を各クラブより参加させていただきますようお願いします。

今回のライラセミナーのテーマは「自立」―守・破・離―です。

現在日本は、とても大きな危機に直面しています。耳を疑うような悲惨な事件、企業・行政による不祥事の数々、いったいどうなってしまうのかと考えてしまうニュースが連日報道されています。戦後の日本は、世界中が驚く奇跡的な復興を遂げました。しかし日本の奇跡的な復興は、経済の充実に集中しすぎたあまり、日本人として大切にしなければならないモノを置き去りにしてきました。

そんな社会を変えるのは“新世代”の人ひとりひとりです。ひとりひとりの自立は周りの人達や家族を変える力になり、やがては国家まで変える大きな力になると思います。

夢や志は自立の上に成り立つものです。夢を実現するために、セミナー参加者ひとりひとりが自分自身の自立を見つめ直し、自分の中の問題を自覚し、自分自ら自立した人間になろうとする意識をもつことが大切だと思っています。今回のセミナーがそんな意識をもつ一助となることを期待しております。

皆様方のご協力とご支援をせつにお願い申し上げます。

2007~2008年度 RI 第2760地区国際奉仕委員長会講

国際ロータリー第2760地区国際奉仕委員会

委員長 鈴木吉男



本年度の国際奉仕委員会は、安井前委員長が始められた名古屋運動会に本年度も参加協力させていただきます。第2760地区の各ロータリーにご案内させていただきますと思います。また、国際奉仕の小委員会となっています世界社会奉仕(W.C.S.)委員会、青少年交換委員会(Y.E.C.)の事業及び啓蒙のフォローアップをしたいと思ひます。

W.C.S.事業につきましては、地区事業としては今年で3年目になりますラオスに学校をつくるという事業を、タイの第3360地区と共同でマッチンググラントを取り入れ展開し、地区に一任していただいている各ロータリーにはより多くの情報を提供し、現地にも出向いていただきたいと思ひます。

独自でW.C.S.を行われているロータリーにおいても、マッチンググラントの利用を進めていきたいと思ひます。W.C.S.事業は1年ですぐにはできません。RIから国際奉仕についていろいろな情報が発信されています。ガバナー月信を通じ、そのような情報をお知らせして、各ロータリーにおいて独自の事業に展開される手助けをしたいと思ひます。

青少年交換につきましては、地区ロータリアンの減少による奉仕活動費の減少、高齢化等により、各ロータリーのスポンサーになっていただけないこと、各高校の国際化により、学校独自の留学により学校の推薦をしていただけない等、いろいろな要因により大変難しくなっています。ロータリーのプログラムの中でも青少年交換は大変安全で、すばらしい奉仕プログラムのひとつです。全世界で90カ国以上、9,000名位の学生が毎年参加しています。このすばらしいプログラムを少しでも多く地区のロータリアンに知っていただきますことで多くの学生に行っていただきたいと思ひます。

本年度は二つの委員会と協力し、国際奉仕の活動を高めていきたいと思ひています。

国際ロータリー第2760地区青少年交換委員会

委員長 安藤隆利

第2660(大阪)地区の元RI青少年交換委員である近藤真道さんが記されたものを7月18日水曜日、国際奉仕委員長会議の席で発表させていただきました。青少年交換事業の理念を的確に表していると思ひ、皆様にも是非お知らせします。

ロータリー青少年交換は、留学制度ではありません。また旅行会社等の企画によくみられる「ホームステイによる海外体験旅行」でもありません。

ロータリー青少年交換は『子育てプログラム』です。ロータリアンがロータリアンの子供、そして世界の子供を「我が子」としてロータリアン同士が協力して立派な大人に育てるプログラムです。

そこでロータリー青少年交換において最も重要なことは、子供を送り出すロータリアンと受け入れをするロータリアンが互いに「信頼」によって結ばれていることです。

交換相手のロータリアンとは一面識もないケースが多くあります。いわば私どもの多くが一面識も無いロータリアンと『ロータリアンである』というだけで交換をやっていることが多いのです。

「信頼度」を築くためにも、世界各地で開催されている青少年交換会議に出席して信頼関係と友情を深めているのです。

2007~2008年度 RI第2760地区国際奉仕委員長会議

全世界のロータリー青少年交換実績は約年間7000名、そのうち日本からは600名弱（受け入れ、派遣）で世界の交換の9パーセントを占める重要な国なのに日本からの交換会議等への参加が極端に少ない。その意味でも、世界各地での大会に出席し、ロータリー青少年交換で最も大切なこと「ロータリアン同士の信頼関係」を構築していただきたい。

最後にロータリー青少年交換プログラムは、ロータリアンによる『子育てプログラム』であると同時に、ロータリアン同士による『ロータリアン友情プログラム』である。

国際ロータリー第2760地区世界社会奉仕委員会

委員長 籠橋 美久

2007年7月18日(水)午後14時30分より国際奉仕、青少年交換、世界社会奉仕各委員会順にプレゼンテーションを行い真剣かつ実りのある会議となりました。当地区国際奉仕委員会は、地区の81クラブの国際委員長に集まって頂き、今年度のWCS活動の事業計画、プロジェクトの計画案等について、次のように具体的に約30分程度の説明を行いました。



1. 今年度の事業計画について

① 2760地区各クラブへの活動奨励

- ・クラブ会員へのWCS活動の理解度を高めるために地区WCS委員会として各クラブへ出向き卓話を実施する。
- ・活動プログラムの積極的な取り組みを行って頂くため、地区WCS委員会との連携を図りクラブ単位の活動を奨励する。
- ・今年度の地区大会においてWCS活動の事例を発表するため、各クラブの情報を集約する。

② 3360地区（タイ・チェンマイ、ラオス）への支援

- ・従来年度に実施してきましたタイ（3600地区）への愛知ロータリー奨学基金贈呈を今年度も実施する。
- ・ラオスへの小学校の建設も3年目を迎え、今年度も引き続き実施する。プロジェクト案件を次のとおり提案をしました。

a. サイニャブリー県ナタック村小学校建設

b. 小学校建設規模

小学校校舎1棟（3教室分）、小学校用職員室1棟

c. 予算額 33,000ドル（日本円約400万円）

この小学校は、規模としては大きな生徒数を有しているため、上記規模では賄えないため、次年度も実施する予定。また、プロジェクト予定地の事前視察が実施されている様子をビデオにて紹介した。

③ 3360地区以外のプロジェクトも次年度以降に向けて検討

例えば、ベトナム、バングラディッシュ、ミャンマー等へのプロジェクトを募集し検討する。

2. WCS活動調査のご質問

各クラブ国際委員長様にご質問書をお配りし、8月31日（金）までにご回答をお願いした。

最後に、地区と各クラブが連携し、実り多いWCS活動をお願いしました。

ガバナー公式訪問報告

名古屋ロータリークラブ

幹事 天野 源之

7月31日(火)江崎ガバナー・河村地区幹事をお迎えし、懇談会ならびに例会を開催しました。

懇談の場では、名古屋ロータリーの現状報告の後、意見交換をさせていただき、ロータリー財団への貢献、地区への参加など貴重なアドバイスを多数頂きました。

例会の卓話につきましては、江崎ガバナーより本年度RIテーマ「Rotary Shares」についてわかりやすくお話を頂き、具体的な行動についてもご説明をいただきました。

また、本年度のガバナー目標であります「違いをもたらそう」についても、昨今NPOなど多くの奉仕団体が存在する中で今こそロータリーの高邁な倫理性、高い専門性、職能性をベースにしてロータリーらしい奉仕で、社会に感銘を与える必要があるとの説明をいただきました。短い時間ではありましたが、大変充実した例会となりました。



名古屋東南ロータリークラブ

会長 伊藤 秀雄

本日はガバナー公式訪問を名古屋南ロータリークラブと名古屋東南ロータリークラブ、2ロータリークラブ合同の例会でお受けしました。

ガバナーが提唱されている「One Difference」を年度内目標に掲げ、期首よりクラブの基盤強化に取り組んでおります。

当クラブの年度内目標である「チャレンジ100」に向けて、計画通りの推進をしております。すでに、7月4日の第1例会で11人の新入会員を迎えました。また、9月までに5名、12月までに5名の増強に取り組んでおります。

期首69名から、今期末には90名を越えるメンバーにし、来年度で100名達成を目指します。

また、本年度は多数の新入会員があるために、新会員の研修と教育、また中堅会員の指導者育成に取り組み、本当の意味での「ロータリーの分かちあい」が実践できるクラブにいたします。



半田ロータリークラブ

幹事 小栗 孝久

8月2日(木)江崎ガバナーと河村地区幹事をお迎えし、会長幹事懇談会、それに続き、ガバナー公式訪問歓迎例会が開催されました。台風5号の影響により大変蒸し暑い中を定刻通りご来館され、さっそく会長幹事懇談会に入り、RIテーマについて大変わかり易く解説をいただき、また、地区テーマについては、江崎ガバナーのロータリーへの熱い思いを拝聴致しました。そして、公式訪問歓迎例会での、当クラブ松本宏パストガバナーの歓迎のことばに続き、ガバナースピーチでは、江崎ガバナーのロータリーへの強い信念を感じとりながら、会員一同熱心に聞き入っておりました。ロータリーの抱える問題を解決するための手法として、CLPがいかにか有効かを議論し、検討していくのか、これからの課題であろうと考えます。

そのような意味でも、今回のガバナー公式訪問は大変有意義で実り多きものがあつたと感謝申し上げます。



一宮北ロータリークラブ

会長 山内 國雄

8月3日、江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えして公式訪問が行われました。

例会前に行われた「会長幹事懇談会」で江崎ガバナーより、本年度RIテーマ「違いをもたらそう」の方針に基づき、適切なアドバイスを戴きました。

41名の出席の例会では、進行がスムーズで、30分の卓話でありましたが、ガバナーの力強いお話を戴き感銘を受けました。

親睦を深めながらの有意義な公式訪問になりました。



第18回(通算44回)インターアクトクラブ協議会開催報告

今年度第18回インターアクトクラブ協議会報告

第18回インターアクトクラブ協議会は7月16日(月=海の日)午前9時40分より愛知大学において開催されました。お蔭様で晴天に恵まれた幸運を心から感謝しています。と申しますのは、12日時点で予報によれば台風4号の来襲がほぼ確実とみなされ、開催は絶望的と考えられたからです。台風4号来襲時のご案内を協議会参加予定者全員にお届けし、「16日早朝6時30分時点で暴風警報が発令中であれば協議会は中止となります」旨をお伝え致しました。前日予定しましたリハーサルも繰り上げとなるやら、変更せざるを得ないことも発生しましたが幸い、予報より1日早く台風が通過して、晴天に恵まれた中で開催できましたことは本当に有難いことでした。

協議会当日、江崎柳節ガバナーにお伺い致しましたところ、「私は晴れ男です」とのお話でした。良い運をお持ちのガバナーの下で実行委員長を務めさせて頂きました幸せをしみじみと感じさせていただいております。ありがとうございました。



本会議



海外研修壮行会



この電車を運転しました



大発車式



参加校 愛大すてきです。第4分科会

地区ロータリー財団セミナー報告

地区ロータリー財団委員会委員長 深谷友尋

地区ロータリー財団セミナーを7月27日名鉄グランドホテルにて開催いたしました。

江崎ガバナー始め地区役員54名他81クラブ各会長・エレクト・財団委員長・206名総員262名の参加のもと、特別出席者RI2630地区PDG竹腰兼壽様・国際ロータリー日本事務局財団室片岡暎子室長特別講師にお招きして「ロータリー財団について」の演題で講義を頂き、ロータリーの理念、ロータリー財団のシステムなどの指導を受け、その中で特にロータリー活動は“Participate”日本ではこの言葉の意である「参加と出席」の使い分けが出来てない、船に例えられ、ロータリアンは船に乗っている乗客ではなくて、船のクルーの意でなければならないと説かれた、その後財団全般にわたる講和があり、(セミナー要約を参照)和やかな中にも熱心なセミナーを開催することが出来ました。

本年度は

- ① 財団寄付の使途の明確化
- ② 世界平和フェローシップの派遣
- ③ 地区内各委員会との情報交換と協調
- ④ 地区内クラブ財団委員会との情報収集
- ⑤ 財団小委員会への支援を活動重点目標

に掲げ、特にセミナーのマナー化を防ぐために、今年度は事前に各クラブより財団への疑問や要望を寄せていただき、質疑応答の時間をより充実をさせました。

例年になく多くの質問がよせられ、特に4年前から始まった地区補助金について質疑が多く、片岡室長から御指導をいただき、今後の補助金委員会の活動に役立ちました。

その後各小委員会から活動報告があり、和やかな中にも熱心なセミナーを開催することが出来ました。

また、件案でありました、マッチング・グランドも当地区において他の委員会と十分な連携を取り、ロータリー活動と財団が両輪となって、ロータリーの理念であります、超我の奉仕を今年度も目指してまいりたい所存であります、更なるご協力をお願い申し上げます。



2007～2008年度
国際ロータリー第2760地区

地区大会のご案内

違いをもたらそう -ONE DIFFERENCE-

ホストクラブ / 江南ロータリークラブ

場所 / 11月17日(土) : 名鉄犬山ホテル 18日(日) : パークアリーナ小牧

ごあいさつ

大会実行委員長 伊藤 鶴 吉



ホストクラブの江南は「藤の街」です、花言葉の「歓迎」です。尾張地区の充実した施設・設備をフル活用して、ロータリアンを心より歓迎し、アットホームな企画と運営で歓迎します。

ファミリープログラムもご同伴のご夫人の皆さんに喜んでいただける内容と楽しいイベントです。インターネットカフェも新しい企画で地区IT委員会とNTT西日本の全面的な協力で開催します。

何とぞ、ご夫人同伴で大勢の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第1日目 11月17日(土)

- 11:00 地区諮問委員会【6Fリビエール】
- 12:00 R.I.会長代理を囲む昼食会【6Fシャトー】
- 13:00 本会議登録受付 開始
- 13:30 “師勝はなの樹幼稚園”園児ハンドベル演奏
- 14:00 点鐘
国歌・ロータリーソング
開会のことば
R.I.会長代理ご夫妻紹介
特別出席者・出席クラブ紹介
主催者挨拶
R.I.会長代理挨拶
- 15:00 各委員会報告
- 15:20 休憩
- 15:30 ロータリーミーティング
シンポジウム『期待される奉仕プロジェクトの新傾向』
●コーディネーター
2760地区ガバナー 江崎柳節氏(小牧RC)
●パネリスト
「Polio撲滅の実践」…………… 関場慶博氏(弘前RC)
「水保全の実践」…………… 飯 忠悟氏(今治RC)
「自験から得た救急救命の実践」
…………… 伊藤秀雄氏(名古屋東南RC)
「ロータリー世界平和フェローの希望」 2750地区奨学生
「2760地区のWCSの現況」…………… 2760地区WCS委員会
「奉仕プロジェクトと財団補助金制度」
…………… 2760地区ロータリー財団委員会
- 17:30 閉会・点鐘

R.I.会長代理ご夫妻歓迎晩餐会【2F彩雲】

- 18:30 受付開始
- 19:00 開会・挨拶
乾杯
会食・歓談
エレクトーン演奏 / 奏者 松井宏行氏
- 20:30 終了

9:30～11:30
地区指導者育成セミナー【2F彩雲】

12:00～18:30
インターネットカフェ【2F金扇】

第2日目 11月18日(日)

- 09:00 本会議登録受付 開始
- 09:30 開会
滝学園マーチングバンド演奏
- 10:00 点鐘
国歌・ロータリーソング
物故会員黙祷
開会のことば
R.I.会長代理・来賓・特別出席者紹介
出席クラブ紹介
ロータリー財団 / 青少年交換 / 米山奨学生
インターアクト / ローターアクト / GSE紹介
- 10:30 ガバナー挨拶
- 10:35 R.I.会長メッセージ並びに近況報告
- 11:00 記念事業発表・目録贈呈 来賓祝辞
- 11:25 感謝状贈呈・表彰
- 11:50 昼食【アプローチテラス(テント内)およびメインアリーナ観覧席】
- 12:45 本会議第2部 開会
コールロータリー名古屋コンサート &
中部フィルハーモニー交響楽団ジョイントコンサート
- 13:50 次年度ガバナーエレクト / ノミネーターの紹介・挨拶
次年度地区大会ホストクラブ紹介・挨拶
感謝状・記念品贈呈
休憩
- 14:30 記念講演
演題 / 『世界のリーダー達の武器なき戦い』
講師 / 手嶋龍一氏
元NHKワシントン支局長
現在、外交ジャーナリスト・作家として活躍
- 15:55 R.I.会長代理 講評
- 16:00 閉会・点鐘

10:30～12:50
ファミリープログラム【サブアリーナ】
デューク更家氏 トークショー&ウォーキング教室

8:00～15:00
インターネットカフェ【サブアリーナ】

地区大会事務局

〒483-8205 江南市古知野町小金112 江南商工会館1F
Tel. 0587-53-2485 Fax. 0587-53-2486
E-mail rc-chikutaikai07@kounan-rc.com

国連とロータリー

まもなく今年も国連ロータリーデーがやってきます。2007年11月3日です。

国連とRIの関係は1945年、サンフランシスコで行われたロータリー国際大会の提案として決議された国連創立チャーターカンファレンスに49人のロータリアンが29団体の中に代表として参加したことにはじまります。

国連設立後の10年間RIは主要な会議にロータリアンをオブザーバーとして送り、国連とロータリーの間を保って国連を軌道に乗せたといわれています。

同年ロータリーは国連の機能を運命つけるEconomic & Social Council (ECOSOC) (国連経済社会理事会) の設立にも指導的役割を果たし、最大のNGOリーダーとして世界中にECOSOC下部機関を広めました。

1943年にはUNESCO設立がロンドンにおけるロータリー世界大会にて提案され実現しました。その他ロータリーは多くの“Rotary Representative Network”(国連・ロータリー代表ネットワーク)が現在までに多くの実績を重ねています。11月3日には毎年ニューヨーク・ロータリークラブのスポンサーで国連ロータリーデーが開催されています。今年のテーマは“ROTARY & UNITED NATION: SHARING”で今年は同時にユースプログラム(高校生レベル)も行われる予定です。

(ROTARY INTERNATIONALホームページより。ガバナー事務局。文責江崎)

クラブの会長と幹事のための情報資料

クラブ・地区支援担当(日本事務局奉仕室)職員がロータリーの窓口であることをご存知でしょうか。当担当職員は、ロータリーに関するご質問にお答えし、クラブ選挙、定款規定、クラブ運営、RI理事会の方針といった内容について助言を提供いたします。

これからの1年間、クラブを指導し、支援していくにあたり、以下の重要なウェブサイト(リンク)が役立ちます。

- <http://www.rotary.org/applications/CDAreps/japanese/index.html> から、クラブ・地区支援担当職員の名前と連絡先を検索することができます(現在、検索結果は英語)。また、日本事務局内の各部署の職務内容および担当者の連絡先情報も併せてご参照ください。
- http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/club_pres_sec_resources_ja.pdf にクラブ会長とクラブ幹事用の役立つ資料リストが掲載されています。
- 「会員アクセスページ」を利用して、クラブの会員記録の変更、ロータリー財団の各種報告書の参照、クラブの人頭分担金の支払い、次期クラブ役員を報告を行なうことができます。詳細な説明と役立つヒントは、<https://riweb.rotaryintl.org/ja/faq.asp> をご参照ください。
- <http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/019ja.pdf> でクラブのための出版物、視聴覚資料、ソフトウェア、書式、用紙類をお探しください。
- RIとロータリー財団の各種締切期日をはじめ、クラブや地区の運営や行事に関する事項が月ごとに記載された、クラブ会長とクラブ会長エレクトのための年間予定表、「クラブ会長のための月間チェックリスト」はhttp://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/pres_checklist_ja.pdf をご覧ください。
- クラブ・リーダーシップ・プランは、実際のロータリー・クラブのベストプラクティス(最善の実践方法)に基づく長期計画の手段です。<http://www.rotary.org/languages/japanese/support/clubplan.html>
- 最新の「ロータリー章典」の邦訳版をダウンロードすることができます。
http://www.rotary.org/languages/japanese/newsroom/downloadcenter/code_ja.pdf

RI日本事務局職員一同、皆さまのお手伝いをし、クラブの奉仕活動を支援させていただけることを楽しみにしております。RIからの援助が必要な場合は、いつでも、当奉仕室あるいは下記担当部署までお気軽にご連絡ください。

国際ロータリー日本事務局奉仕室長 大木光男

〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階

奉仕室：電話 03-3903-3161 経理室：電話 03-3903-3183

財団室：電話 03-3903-3192 資料室：電話 03-3903-3194

ファックス番号は各室共通：03-3903-3781

第20回インターアクトクラブ海外研修報告

インターアクト委員会委員長 加藤 明 宏

標記研修は7月20日(金)から、オーストラリア・メルボルン近郊のジーロング市にて実施され、大きな感動と成果を携えて29日(日)無事帰国いたしました。今回の参加者は、2760地区15クラブから選ばれた高校生35名、団長は奥出朝紀先生(岡崎城西高校IAC顧問)副団長は森房江先生(豊橋商業高校IAC顧問)、アドバイザーとして副委員長の服部英男さん(岡崎南RC)委員の大河内圭一さん(一宮北RC)委員長の加藤(名古屋RC)が同行し、総勢40名でした。5月の保護者同伴説明会から始まり、2回の泊り込みの事前研修、インターアクトクラブ協議会席上での壮行会、出発当日のセントレアでの出発式を経て行なわれた本研修は、単なる海外旅行とは異なる成果をもたらしたものと思います。事前研修で参加高校生は、班別ミーティング・全体ミーティングを繰り返し、仲間づくりやインターアクトクラブの代表としての意識づくり、グループとしての結束を固めていきました。また壮行会・出発式を通して高校生たちは、この研修が多くの方々やロータリアンに支援されていることを学んだことと思います。詳しくは事後の研修会を経て作成される報告書、映像にて研修の様子をお伝えするDVDをぜひご覧ください。高校生たちはこの研修を糧に、自分の高校生活の充実はもちろんのこと、所属するインターアクトクラブでの活躍を必ずしてくれるものと確信しています。最後になりましたが、この研修を支えていただいた提唱ロータリークラブ、インターアクトクラブの皆様にご心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



海外派遣研修プログラム日程表

7月20日(金)	セントレア特別室にて、加藤康治新世代委員長らの激励を受け17:15発のキャセイ航空にて出発。台北・香港経由なので乗換を含めて17時間の長旅となりました。
7月21日(土)	メルボルン空港到着後、チャーターバスにてジーロング市へ。OGフットボールのスタジアムにて、ホームスティファミリーと対面。 全体・班別アトラクションを初めてオーストラリアで披露。
7月22日(日)	終日、ホームスティファミリーと過ごす。
7月23日(月)	公立のオベロンハイスクールに集合。全校生徒(日本でいえば中1~高3)の朝礼で紹介があり、全体アトラクション(今年は「We are the World」の合唱と合奏でした)でアピール。その後バディ(世話をしてくれる生徒)と共に授業を体験。
7月24日(火)	この日もオベロンで授業体験・交流会(班別アトラクションと書道のパフォーマンス)の後、ジーロングロータリークラブの例会に全員で出席し、2760地区22のクラブバナーを各自交換しました。
7月25日(水)	ジーロングYMCAを訪問。体育館をお借りして、バレーボール・バスケットボール・ゲーム大会に興じました。その後市内散策、初めてゆっくりとショッピングもできました。
7月26日(木)	グレートオーシャンロードへの遠足。雄大で美しい海岸の風景は日本では味わえないものでした。(過去3年間でいちばん天候に恵まれました)また野生のカンガルーとコアラに会えたことも驚きでした。
7月27日(金)	Vラインという郊外列車に全員で乗ってメルボルン市内へ。班ごとに地図を片手に、徒歩とシティサークル(無料の路面電車)で初めての街を散策しました。幸い迷子はありませんでした。
7月28日(土)	朝ホームスティファミリーとの別れ。毎年の光景ですが、1週間のステイを本当の家族のように受け入れてもらった生徒たちの中には、涙・涙の時となった人もいました。その後農場見学、ホテルへ。
7月29日(日)	早朝4時のモーニングコール。全員時間前に集合してメルボルン空港より香港経由でセントレアへ。日本時間午後9時過ぎ到着しました。



2007年9月地区主要行事

〈会 議〉

- ◆ 9月1日(土) 11:00~12:00
第2回地区諮問委員会 名鉄グランドホテル

〈地区委員会〉

- | | |
|---|---|
| ◆ 9月1日(土) 13:00~15:00
地区大会企画委員会 名鉄ニューグランドホテル | ◆ 9月13日(木) 15:00~16:30
第3回地区米山奨学委員会 ガバナー事務所分室 |
| ◆ 9月4日(火) 13:30~14:30
第3回新世代委員会 キャッスルプラザ | ◆ 9月13日(木) 15:00~16:30
第2回社会奉仕委員会 桜ヒルズ101 |
| ◆ 9月6日(木) 14:00~16:00
第2回職業奉仕委員会 名鉄グランドホテル | ◆ 9月20日(木) 15:00~17:00
第2回IT委員会 ガバナー事務所分室 |
| ◆ 9月6日(木) 14:00~16:00
第2回ライラ委員会 ルブラ王山 | ◆ 9月22日(土) 15:00~20:30
第9回GSE委員会 ガバナー事務所分室・神戸屋 |
| ◆ 9月12日(水) 18:00~20:00
第4回会員増強委員会 名鉄グランドホテル | ◆ 9月29日(土) 14:00~16:00
第2回青少年交換委員会 ウィル愛知 |

〈地区内クラブ委員長会議〉

- ◆ 9月4日(火) 15:00~19:00 第1回地区内クラブ新世代委員長会議 キャッスルプラザ
- ◆ 9月7日(金) 13:00~16:00 地区内クラブ奉仕委員長会議
(ロータリー家族委員会と合同) ホテル日航豊橋
- ◆ 9月11日(火) 16:30~19:00 地区内クラブ広報委員長会議 名鉄グランドホテル
- ◆ 9月12日(水) 14:30~17:00 地区社会奉仕委員長会議 キャッスルプラザ
- ◆ 9月19日(水) 12:00~15:30 第1回環境保全委員長会議 クレストンホテル

〈委員会主要行事〉

- ◆ 9月8日(土) 18:00~20:00 第1回米山学友役員会 中華 桃園

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ ハイライトよねやま90号 ★

2007年8月13日発行

● 今月のトピックス

1. 寄付金速報 — 2007年度の予算、14億5千万円を目指して —
2. 2008学年度の指定校が決定!
3. ちょっと新しくなった『豆辞典』が登場します
4. お待たせしました! 好評の『米山学友の群像』第2号発行
5. ネパールに識字教育のNGOを立ち上げ

詳細は、米山記念奨学会ホームページ【<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>】をご覧ください。

❖ ラタクル氏が財団管理委員長を辞任

2007-08年度ロータリー財団管理委員長のビチャイ・ラタクル氏は、8月1日付で委員長を辞任すると発表。今後は引き続き、管理委員として任務に就くことになります。氏は「私と妻の健康上の理由から、委員長辞任という難しい決定をしました。このような不測の事態により、多大な迷惑をおかけすることを心からおわびします」と述べました。

これにより8月1日以降に予定されていた、ラタクル氏の管理委員長としての講演はすべて中止となりました。

ロータリー財団細則に従い、副委員長でカナダ・オンタリオ州コーバークロータリークラブのロバート S. スコット氏が2008年6月30日まで委員長を務めます。元国際ロータリー (RI) 副会長や元 RI理事の経験があるスコット氏は、RIや財団での経験も豊富で、現在は国際ポリオ・プラス委員会委員長を務めています。スコット氏は財団管理委員長としての新たな役目を担うにあたり、今年度の財団目標である、ポリオの撲滅、「毎年あなたも100ドルを」、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センターの支援を通じて平和の願いがかなうことを伝えること、財団学友と再びつながりを築くこと、の4点に引き続き焦点を当てていくことになります。

発行:ロータリーの友事務所

ホームページ……<http://www.rotary.or.jp>

編集については……hensyu@rotary-no-tomo.jp

文庫通信 (238号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

❖ ロータリーの課題 ❖

- ◎ 「パネルディスカッション クラブ活性化」 上條優雄(コーディネーター) 2007 9p (D. 2790地区大会)
- ◎ 「ロータリーと私」 佐原元 2007 8p (D. 2800地区大会)
- ◎ 「時間に愛を込め、仕事に愛を込めることを」 深川純一 2006 10p (D. 2580地区大会)
- ◎ 「社会奉仕について」 野崎元治 2006 11p (D. 2740地区協議会)
- ◎ 「CLPの一考察」 成川守彦 2007 10p (D. 2640月信)
- ◎ 「CLP研修委員会の報告」 三木靖 2007 2p (D. 2730月信)
- ◎ 「参考!!CLPアンケート」 2007 2p (D. 2830月信)
- ◎ 「危機管理委員会設置の目的、経緯・内容」 落合雅雄 2007 5p (D. 2550月信)
- ◎ 「危機管理委員会設置の目的、経緯及び内容等について」 本山新三 2007 4p (D. 2680月信)

【上記申込先：ロータリー文庫 (コピー/PDF)】

- ◎ 「ロータリーとは? -ロータリアンであることの意義」 成川守彦 宇都宮北R, C. 2007 40p

【申込先：ロータリー文庫】

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

第2760地区特別仕様ガバナー車

江崎ガバナーの公式訪問移動用に河村地区幹事が経営する会社のご尽力で、三菱自動車製の最新のワンボックスカーを利用して『ガバナー公式訪問専用特別仕様車』を用意した。

今年度のRIテーマのロゴマークをボンネットと両サイドにつけて、ナンバープレートもRI地区NOを表す『27-60』として地区内の公式訪問などに活用している。

長距離移動の激務の負担を和らげるために、後部シートは寝ることのできるフルクライニングシートと腰痛緩和用の背あてのランバーサポートを備えている。また百ボルトの電源を用意して車内でもパソコンが使えるように環境を整えている。

「旅客機のファーストクラス並の居住性と便利さに驚いている」と江崎ガバナーも大満足の様子である。



新潟・中越沖地震災害義援金のご報告

平成19年7月16日に発生致しました新潟・中越沖地震の災害に対して、国際ロータリー第2760地区のほとんどのクラブ・会員の方々より、友情と善意の義援金が、「ガバナー事務所・災害等危機対策室」にお振込み頂く事が出来ました。

地区会員の方々の友情と善意に心より感謝と御礼を申し上げます。
早速ガバナー会に報告し、その指定口座に送金させていただきます。

義援金総額 金 5,371,806 円也

尚、各クラブ別義援金振込み額の明細一覧表は、別途クラブ幹事宛に送付させていただきます。
上記の通りご報告させていただきます。ご協力に厚く感謝申し上げます。

「ガバナー事務所・災害等危機対策室」会計責任者 地区副幹事 長谷川憲治



訃報

拝啓
森泰樹氏バスト・ガバナーご逝去の報に接し、悲しみに堪えません。
ウィルフリッドJ. ウィルキンソンRI会長並びにRI理事会に代わり、豊橋ロータリー・クラブ会員ご一同様に、心よりお悔やみ申し上げます。

森様の生涯は、ロータリーの標語である「超我の奉仕」を反映するものであり、ロータリーへの取り組み、とりわけ1977-1978年度の地区ガバナーとしての奉仕は高く評価されております。

森様には数多くのロータリアン知己がおられることと存じますが、近刊のロータリアン誌で、森様の訃報が伝えられます。

まずは、略儀ながら、書中にて謹んでお悔やみ申し上げます。 敬具

Edo Futaba
事務総長 エド・フタ (布田)

1977～78年度ガバナーを務められた豊橋ロータリークラブの森泰樹氏が8月4日午前1時43分、入院先の豊橋市民病院で死去されました。享年97歳でした。

森氏は1950(昭和25)年豊橋ロータリークラブ創立メンバーとして入会され、59(同34)年、会長を歴任。77(同52)年、第260地区ガバナー(現2760地区)となった。

1948(昭和23)年に豊橋市民病院の院長になられ、27年間院長として病院の近代化に努め地域医療に貢献してきました。ほかに豊橋文化協会会長(現豊橋文化振興財団)、茶道裏千家淡交会三河支部長などを歴任。

1963(昭和38)年、豊橋文化賞受賞、74(同49)年、藍綬褒章、80(同55)年、勲3等瑞宝章を受章。さらに、地域の発展に貢献した人に贈られる「東日賞」も82(同57)年に受けている。またこの度RI事務総長よりも弔文が届けられました。

江崎柳節ガバナーをはじめとして地区会員一同心よりご冥福をお祈り申し上げます。

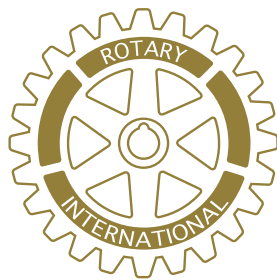
会員数及び出席報告 (平成19年 7月)

クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月	入会	退会	例	7月		
	2007年 7月1日	7月1日 女性	2007年 7月末日	女性	7月	7月			累計	出席率
半田	59	3	60	3	1	1	0	4	96.57%	
常滑	51	0	51	0	0	0	0	4	98.22%	
東海	60	2	61	2	1	1	0	4	96.43%	
東知多	22	1	22	1	0	0	0	4	94.27%	
半田南	46	1	46	1	0	0	0	5	97.07%	
知多	23	0	23	0	0	0	0	4	89.13%	
大府	22	1	22	1	0	0	0	4	97.50%	
7RC	283	8	285	8	2	2	0	0	95.60%	
一宮	80	0	81	0	1	1	0	4	98.99%	
津島	76	3	76	3	0	0	0	4	90.00%	
尾西	28	1	29	1	1	1	0	4	95.62%	
一宮北	51	0	51	0	0	0	0	4	89.32%	
稲沢	56	0	56	0	0	0	0	4	85.00%	
あま	90	0	90	0	0	0	0	4	99.40%	
名古屋清須	39	1	39	1	0	0	0	4	87.85%	
尾張中央	46	0	46	0	0	0	0	4	89.97%	
一宮中央	52	5	53	5	1	1	0	4	93.19%	
9RC	518	10	521	10	3	3	0	0	92.15%	
瀬戸	80	3	79	3	0	0	1	1	4	100.00%
犬山	79	0	81	0	2	2	0	0	5	100.00%
江南	55	1	55	1	0	0	0	4	92.30%	
小牧	38	3	38	3	0	0	0	4	97.86%	
春日井	62	2	62	2	0	0	0	4	98.13%	
尾張旭	30	0	32	0	2	2	0	4	99.19%	
名古屋空港	57	3	58	3	1	1	0	4	95.36%	
瀬戸北	72	5	70	5	0	0	2	2	4	100.00%
岩倉	19	1	19	1	0	0	0	4	94.73%	
名古屋城北	21	2	21	2	0	0	0	4	94.12%	
愛知長久手	26	3	26	3	0	0	0	4	81.73%	
11RC	539	23	541	23	5	5	3	3	95.77%	
名古屋	182	0	184	0	2	2	0	0	5	91.04%
名古屋西	96	0	99	0	3	3	0	4	88.29%	
名古屋南	118	0	119	0	1	1	0	4	94.97%	
名古屋みなと	76	0	76	0	0	0	0	4	92.54%	
名古屋東南	67	5	78	5	11	11	0	4	93.30%	
名古屋中	138	0	138	0	0	0	0	4	99.26%	
名古屋瑞穂	72	0	72	0	0	0	0	4	93.88%	
名古屋大須	68	3	69	3	1	1	0	4	93.63%	
名古屋栄	68	0	71	0	3	3	0	4	91.15%	
名古屋名南	74	13	74	13	0	0	0	4	99.22%	
名古屋名駅	93	3	93	3	0	0	0	4	98.01%	
名古屋西南	46	6	47	6	1	1	0	4	95.00%	
12RC	1,098	30	1,120	30	22	22	0	0	94.19%	

	クラブ	平均
平均出席率	81	94.78%

クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月	入会	退会	例	7月		
	2007年 7月1日	7月1日 女性	2007年 7月末日	女性	7月	7月			累計	出席率
名古屋北	96	0	96	0	1	1	1	1	4	100.00%
名古屋東	82	0	85	0	3	3	0	0	4	96.00%
名古屋守山	62	7	62	7	0	0	0	0	4	91.20%
名古屋和合	98	0	98	0	0	0	0	0	4	86.61%
名古屋名東	59	7	59	7	0	0	0	0	5	100.00%
名古屋名北	48	7	48	7	0	0	0	0	4	97.06%
名古屋千種	58	6	60	6	2	2	0	0	5	93.41%
名古屋昭和	55	0	56	0	1	1	0	0	4	98.55%
名古屋錦	33	6	33	6	0	0	0	0	5	85.81%
名古屋東山	48	2	50	2	2	2	0	0	4	69.27%
名古屋葵	24	0	24	0	0	0	0	0	4	98.91%
11RC	663	35	676	35	9	9	1	1	92.44%	
豊橋	119	4	119	4	0	0	0	0	4	95.69%
蒲郡	57	0	57	0	0	0	0	0	4	94.23%
豊橋北	90	2	91	2	1	1	0	0	5	98.73%
豊川	66	0	67	0	1	1	0	0	4	95.37%
田原	54	1	53	1	0	0	1	1	4	93.44%
豊橋南	63	0	64	0	1	1	0	0	4	97.51%
新城	50	0	50	0	0	0	0	0	4	90.50%
渥美	36	0	37	0	1	1	0	0	4	84.20%
奥三河	18	3	18	3	0	0	0	0	4	92.00%
豊川宝飯	57	2	57	2	0	0	0	0	5	95.20%
豊橋ゴールデン	59	0	59	0	0	0	0	0	4	99.04%
田原パシフィック	63	0	63	0	0	0	0	0	5	97.87%
豊橋東	45	0	44	0	0	0	1	1	4	88.37%
13RC	777	12	779	12	4	4	2	2	94.01%	
岡崎	92	1	96	1	4	4	0	0	4	99.01%
豊田	77	0	85	0	8	8	0	0	4	100.00%
岡崎南	94	2	94	2	0	0	0	0	5	97.50%
豊田西	99	0	101	0	2	2	0	0	4	98.34%
岡崎城南	75	0	75	0	0	0	0	0	5	97.68%
豊田三好	22	2	22	2	0	0	0	0	4	92.86%
豊田中	49	5	52	5	3	3	0	0	4	100.00%
9RC	648	10	668	10	20	20	0	0	97.07%	
刈谷	92	4	93	4	2	2	1	1	4	100.00%
安城	60	1	60	1	0	0	0	0	4	93.75%
西尾	71	1	72	1	1	1	0	0	4	98.08%
碧南	79	0	80	0	2	2	1	1	4	94.80%
一色	29	0	29	0	0	0	0	0	4	96.55%
高浜	39	2	39	2	0	0	0	0	4	100.00%
知立	65	0	65	0	0	0	0	0	4	100.00%
西尾KIRARA	58	0	58	0	0	0	0	0	4	94.30%
三河安城	56	6	56	6	0	0	0	0	4	95.92%
9RC	549	14	552	14	5	5	2	2	97.04%	

地区内クラブ数	81RC	2007年7月1日会員数	5,075名	内女性142	増加会員数(累計)	70名
		当月会員数	5,142名	内女性142	減少会員数(累計)	8名
		当月平均出席率	94.78%		差引純増会員数(累計)	62名



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760



表紙に寄せて

静謐(せいひつ) 撮影 江崎 柳節

人間には他の動物にも見られる帰巢本能が備わっているように考えられている。以前に快く感じた経験や学習がやがて再びそこに帰らせる本能なのである。

せっかく海外に行くのなら、その都度違う場所に行く方が楽しいんじゃない?といわれてもいつもそこに来てしまう。"Welcome back ..."

と迎えられ"また帰ってきたぞ"という場所である。すこし乗り継いでも其処がよい。Mauna Lani(天国に一番近い山)という海岸がハワイ島にある。やはりこの種の先客が居るのか到着して同じ気持ちで海を見ている。波打ち際でありながら静謐を感じ自らを省みる時空である。(江崎)

ガバナー事務所

〒485-0041 小牧市小牧五丁目253
小牧商工会議所会館5F
TEL0568-74-6111 FAX0568-74-6112
HP : <http://www.rotary2760.org>
E-mail : governor07-08@rotary2760.org